

プログラム 第7回日本神経病理学会近畿地方会 2013年7月27日(土)

<世話人会> 12:00~12:50 (3F会議室)

<標本展示> 13:00~14:45 (第3実習室)

<口演> 14:55~16:45 (第3実習室)

14:55~15:00

開会の辞: 大阪府済生会中津病院 神経内科 山本 徹先生

セッション1: 座長 山本 徹先生 (大阪府済生会中津病院 神経内科)

15:00~15:40

1. 臨床的、病理学的に左右差の明らかでなかった皮質基底核変性症の1剖検例

○新宅雅幸¹⁾、金田大太²⁾

1) 大阪赤十字病院 病理診断科、2) 同神経内科

2. 広範囲に α -synuclein沈着を認めた家族性MSAの1剖検例

○辻 有希子¹⁾、伊東 恭子²⁾、笠井 高士¹⁾、中川 正法³⁾、伏木 信次²⁾

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科、2) 同 分子病態病理学

3) 京都府立医科大学附属北部医療センター・京都府立医科大学大学院医学研究科

セッション2: 座長 新宅 雅幸先生 (大阪赤十字病院 病理診断科)

15:40~16:20

3. 皮質微小梗塞近傍に神経細胞体内タウ陽性顆粒状構造物を伴った重度の脳アミロイド血管症関連血管炎の1剖検例

○岡本洋子¹⁾、猪原匡史²⁾、仙崎英人³⁾、植田初江¹⁾、山本 徹⁴⁾

1) 国立循環器病研究センター病理部、2) 国立循環器病研究センター脳神経内科、

3) 大阪府済生会中津病院病理部、4) 大阪府済生会中津病院神経内科

4. 慢性型ATLの経過中に、acute HAMを併発した1例

○和田裕子¹⁾、石尾ゆきこ¹⁾、柳原千枝¹⁾、西村 洋¹⁾、石原美佐²⁾、橋本公夫²⁾

1) 西神戸医療センター 神経内科、2) 同 病理科

セッション3: 座長 伊東 恭子先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学)

16:20~16:40

5. 脳生検にてNeuronal intranuclear inclusion disease (NIID)が疑われた症例

○神吉理枝¹⁾、西川敦子¹⁾、森畑宏一¹⁾、中野 智¹⁾、福島裕子²⁾、井上 健²⁾、山本 徹³⁾

1) 大阪市立総合医療センター 神経内科、2) 大阪市立総合医療センター 病理部、

3) 大阪府済生会中津病院 神経内科

16:40~16:45

閉会の辞: 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学 伏木 信次